

保育者の準備と工夫が大切！（園長つぶやき）

園庭に、子ども達が気づくように置いておいたビールケース。いつか誰かが気づいて遊びに使いたすかな？？と一人で勝手にドキドキしていましたが、ついにその時がやってきました。無造作に並べられたビールケースの上に年少の男の子が乗って歩いています。その内に、一人また一人と子ども達の数が増えていき、たくさんの子ども達がビールケースの上で、何か遊ぼうと考えている様子です。

まずは、年長を中心にじゃんけんゲームが始まりました。でも、年少の子ども達にはじゃんけんのしっかりしたルールが分からず……。また、じゃんけん以外のルールも年少の子ども達には伝わらず。ものの数分で、終わりました。

次は、ビールケースの上を、順番にひたすら歩いていく？遊びです。これも、ただ歩くだけでは楽しさが膨らまず。少しずつ、遊ぶ子どもたちが少なくなっていました。「あ～、この遊びは続かなかったかな～」と思っていました。

一人の年少の男の子がビールケースを動かし始めました。その動きを見ていると、どうやら並べていきたい様子。ただ、上に乗っている子どもからすると突然動かされていくので、ちょっと戸惑い「止めてー」「しないでー」と雲行きが怪しくなりそうな雰囲気。「どうなるかな？」と近くで様子を見ていましたが、ケースを動かしているお友達のやりたいことが少しわかったのか、じっと様子を見始めました。

最終的には、全てのビールケースがきれいに並び、端から端まで行き来して遊んでいました。でもずっと遊んでいるのは、一番初めに遊びだした

年少の子どもだけ。

子ども達が自分で気づき遊びを進めることが大切ですが、ただ道具や遊具があるだけでは、発展しないこともあると考えることが出来る機会でした。次は、これを使ってこんなことが出来るかも！と想像できるような準備が出来ればと思います。（R2・5・14）

